

**【資料 4-6】大学院生の学会発表者数**

	25				26				27				28			
	国内会議		国際会議		国内会議		国際会議		国内会議		国際会議		国内会議		国際会議	
	修士	博士	修士	博士												
共生人間学専攻	12	93	2	23	19	67	2	25	31	90	6	31	25	49	16	43
共生文明学専攻	2	27	1	10	0	24	0	9	4	32	1	4	1	7	5	23
相関環境学専攻	62	54	24	32	81	30	20	11	87	44	25	21	73	48	3	7
合計	76	174	27	65	100	121	22	45	122	166	32	56	99	104	24	73
	250		92		221		67		288		88		203		97	

**【資料 4-7】学会への参加を促す取組み**

(教員アンケート H24.6月, H27.7月, H29.7月実施)

項目	第1専攻			第2専攻			第3専攻		
	H24	H27	H29	H24	H27	H29	H24	H27	H29
学会（シンポジウム）参加費の補助	8	9	13	2		1	20	8	15
旅費の補助	17	14	14	2	2	2	21	9	17
研究進捗状況に合わせた学会発表の提案・奨励とそのための指導	1	3	5	1	4	1	2	4	2
海外現地調査、留学体験の推奨				1	2				
奨学金・研究助成の申請のサポート			2	1	2				9
学会情報の提供		3	18	1	4	5		1	
大学宿泊施設の斡旋				1					
学会等の京都開催	1								
競争的資金の獲得	1	1			1			1	

**【資料 4-8】他大学・公的機関及び企業との共同研究の件数**

年度	24	25	26	27	28
共生人間学専攻	5	6	4	5	6
共生文明学専攻	6	1	1	1	1
相関環境学専攻	16	27	23	24	22
合計	27	34	28	30	29

25年度

花王株式会社、株式会社エクシング企画開発部、独立行政法人宇宙航空研究開発機構、独立行政法人科学技術振興機構、Nestec Ltd.、キャノン株式会社、サントリーウェルネス株式会社、The NATIONAL CENTER FOR SCIENTIFIC RESEARCH (CNRS)、中央大学人文科学研究所、株式会社KR1、トヨタ自動車株式会社先端材料技術部、株式会社カシイ、積水化学工業株式会社住宅カンパニー住環境事業部、関西大学、兵庫県自然保護協会、東京大学、北海道大学、IDAC、国立感染症研究所、熊本大学、九州大学、ロシア科学アカデミー、モスクワ国立大学、カーディフ大学、マルセイユ大学、東京大学、島根大学、名古屋大学、株式会社豊田中央研究所、本田技術研究所、日揮触媒化成、住友金属鉱山、東北大学、防衛大学校、日本原子力機構、独立行政法人物質・材料研究機構

26年度

滋賀医科大学、東京大学、武漢大学（中国）、大阪大学、北海道大学、マレーシア国サラワク州森林局 株式会社 KRI 生産開発科学研究所、若狭湾エネルギー研究センター、ヘルシンキ大学 名古屋大学 島根大学 豊田中研究所 ニフティ株式会社 IDAC 日本 BCG 研 関西大学 富山県立大学

27年度

株式会社コロバ、滋賀医科大学、東京大学、武漢大学（中国）、大阪大学、大阪市立大学、北海道大学、マレーシア国サラワク州森林局、株式会社 KRI、和光純薬工業株式会社、株式会社 GS ユアサ、生産開発科学研究所、若狭湾エネルギー研究センター、ヘルシンキ大学、名古屋大学、島根大学、豊田中研究所、立命館大学、広島大学、北海道大学、ニフティ株式会社、IDAC、日本 BCG 研、関西大学、富山県立大学、北陸先端大学院大学

28年度

公益財団法人三島雲海記念財団、公益財団法人日本英語検定協会、ニフティ株式会社、エイベック研究所、国立民族学博物館、国際日本文化研究センター、北陸先端大学院大学、積水化学、クラレ、長崎大学、産業技術総合研究所、第一工業製薬、三和油化工業、大阪大学、奈良女子大学、東京工科大学、福井県高浜町、トヨタ自動車、堺化学、大塚化学・ヒロセ、京都大学理学研究科、広島大学、北海道大学、名古屋大学未来材料・システム研究所「革新的省エネルギーのための材料とシステム研究拠点」、トヨタ自動車株式会社 基板材料技術部、トヨタ自動車株式会社 電池材料技術・研究部、学校法人立命館 立命館大学総合科学技術研究機構、株式会社 GS ユアサ、堺化学工業株式会社 研究開発本部中央研究所、国立研究開発法人科学技術振興機構マッチングプランナー